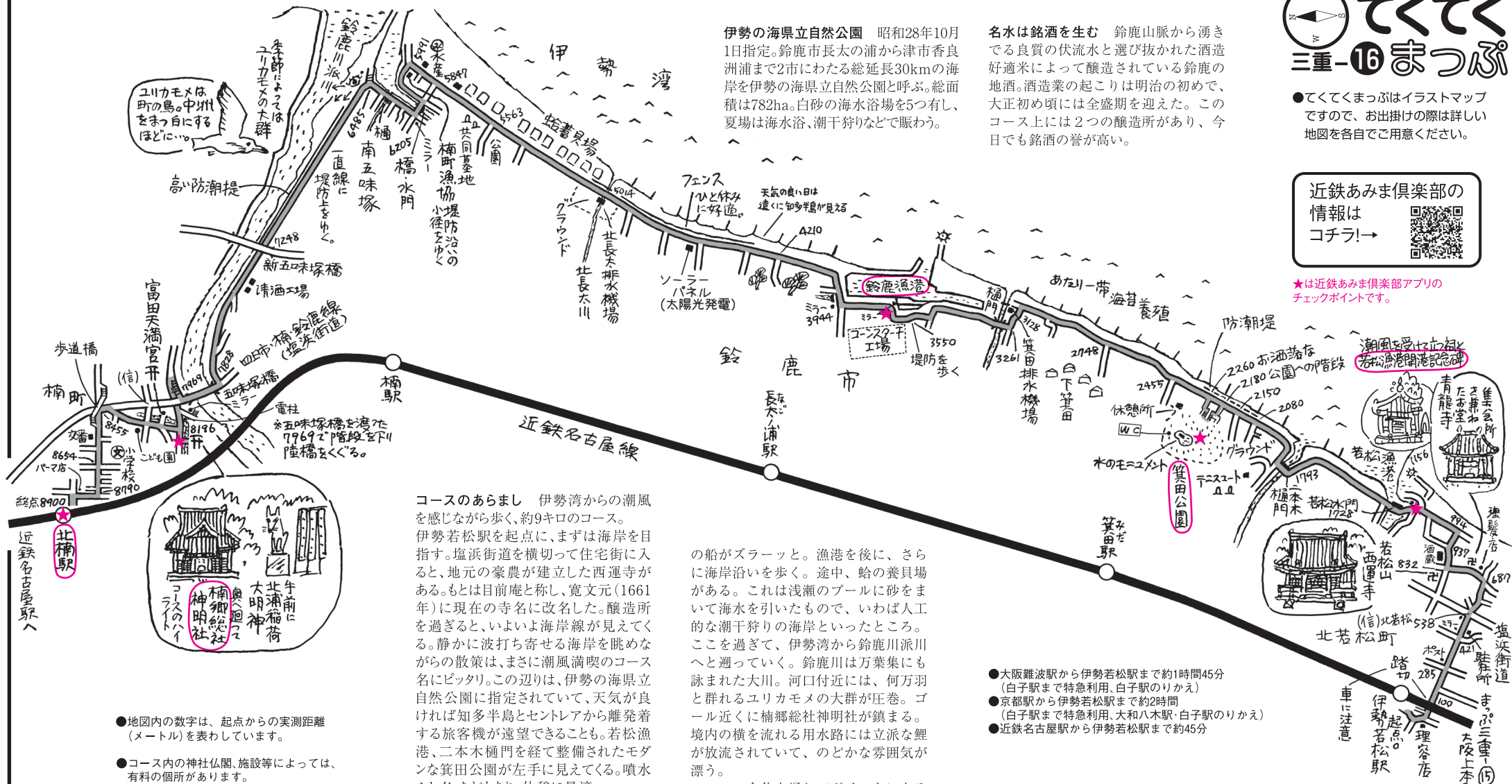


●てくてくまつぷはイラストマップ
ですので、お出掛けの際は詳しい
地図を各自でご用意ください。

近鉄あみま倶楽部の
情報は
コチラ! →



★は近鉄あみま倶楽部アプリの
チェックポイントです。



伊勢の海県立自然公園 昭和28年10月1日指定。鈴鹿市長太の浦から津市香良洲浦まで2市にわたる総延長30kmの海岸を伊勢の海県立自然公園と呼ぶ。総面積は782ha。白砂の海水浴場を5つ有し、夏場は海水浴、潮干狩りなどで賑わう。

名水は銘酒を生む 鈴鹿山脈から湧きでる良質の伏流水と選り抜かれた酒造好適米によって醸造されている鈴鹿の地酒。酒造業の起こりは明治の初めで、大正初め頃には全盛期を迎えた。このコース上には2つの醸造所があり、今日でも銘酒の誉が高い。

コースのあらまし 伊勢湾からの潮風を感じながら歩く、約9キロのコース。伊勢若松駅を起点に、まずは海岸を目指す。塩浜街道を横切って住宅街に入ると、地元の豪農が建立した西運寺がある。もとは目前庵と称し、寛文元(1661年)に現在の寺名に改名した。醸造所を過ぎると、いよいよ海岸線が見えてくる。静かに波打ち寄せる海岸を眺めながらの散策は、まさに潮風満喫のコース名にピッタリ。この辺りは、伊勢の海県立自然公園に指定されていて、天気の良い日は知多半島とセントレアから離発着する旅客機が遠望できることも。若松漁港、二本木樋門を経て整備されたモダンな箕田公園が左手に見える。噴水やトイレなどもあり、休憩に最適。

の船がズラッと。漁港を後に、さらに海岸沿いを歩く。途中、蛤の養貝場がある。これは浅瀬のプールに砂をまいて海水を引いたもので、いわば人工的な潮干狩りの海岸といったところ。ここを過ぎて、伊勢湾から鈴鹿川派川へと遡っていく。鈴鹿川は万葉集にも詠まれた大川。河口付近には、何万羽と群れるユリカモメの大群が圧巻。ゴール近くに楠郷総社神明社が鎮まる。境内の横を流れる用水路には立派な鯉が放流されていて、のどかな雰囲気が漂う。

- 大阪難波駅から伊勢若松駅まで約1時間45分(白子駅まで特急利用、白子駅のりかえ)
- 京都駅から伊勢若松駅まで約2時間(白子駅まで特急利用、大和八木駅・白子駅のりかえ)
- 近鉄名古屋駅から伊勢若松駅まで約45分

コース全体を通してポイントになるのは、やはり海。静かな海岸沿いをのんびりと歩くのに、うってつけのコースとなっている。

ハイキングのエチケット
*ゴミはまとめて持ち帰りましょう。
*山火事防止のためタバコに注意しましょう。
*大切な自然です。植物の採集はつしみましょう。

●約9キロ〔伊勢若松駅～箕田公園～鈴鹿漁港～楠郷総社神明社～北楠駅〕

潮風満喫 鈴鹿コース

きれいな思い出 ●きれいな自然
ゴミや空き缶は、持ちかえりましょう

企画・発行=近畿日本鉄道(株)
制作・印刷=(株)アド近鉄
イラストマップ=トシ・アトリエ 潮川俊朗
*無断転写禁ず。



まが三(重) 大黒屋光夫の御散策コースにつく
大阪上本町駅・伊勢中川駅から